

一番大切に生きてきたこと。 そして、これから。



5月の最終週に学校が再開した時には、「これは大変だ。」と思いました。

背骨がピンとしない。目がピカッとしない。話がシャキッとしない。3・4・5月と続いた3ヶ月間の臨時休業が子どもたちにもたらした影響は実に大きなものでした。

健全な心と健康な体を取り戻すためには時間が必要です。夏休みまでの時間を、子どもたちの心と体を通常に戻すために費やそうと決めました。

1学期は、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、遠足、運動会、修学旅行、水泳記録会等の学校行事や、授業参観、PTA総会等の活動を中止や延期といたしました。もちろん、新型コロナウイルス感染拡大防止が理由の第一です。

そして、第二の理由として一番大切に考えていたことは、「安定した変わらぬ日常を保証し、子どもたちの心と体をとりのぞいていく。」ということです。行事等に追われることなく、淡々とそして着実に日常を積み重ねていくことで、子どもたちの中に安心感とパワーを蓄積していきたいと考えてきました。

毎朝、飯坂街道沿いで街頭指導をしています。そんな短い時間でもいろいろな変化が見えてきました。泣きべそをかいていた子が元気に登校して来るようになりました。保護者に送られてきていた子が自分で歩いて来るようになりました。大きな声で挨拶をしてくれる子が増えました。何より、子どもたちの笑顔が格段に増えました。

学校生活全体を見ても、変化は顕著です。ノートの文字がしっかりしてきました。休み時間校庭で遊ぶ声に張りが出てきました。不登校傾向の子も劇的に減りました。

大変なことや慣れないこと、そして例年通りできなかったことが多い1学期でしたが、意外に実りは大きかったなと思っています。

今日、子どもたちは、通知票を持って帰りました。「1学期本当にかんばったね。」と、たっぷりほめてあげてください。みんな、本当によくがんばりました。短い夏休みですが、事件、事故、感染拡大防止に留意しながら家族でゆっくりとお過ごしください。

さて、夏休み以降の予定です。(現段階では、という但し書きがつきますが。)

10月末の5年生の宿泊学習と、11月初めの6年生の修学旅行は感染防止を徹底しながら実施したいと考えています。実施にあたっての説明会も学年ごとに開催する予定です。例年のような学習発表会は、準備、練習、当日を含めて密になりすぎるため、開催の予定はありません。運動会に代わる戸外でのスポーツ行事や鼓笛パレードは実施できるのではないかと計画しています。また、全体での授業参観や懇談会は難しいと思われませんが、個別懇談はしっかりと実施する予定です。

ご相談があれば、いつでもご連絡をください。授業をご覧になりたいければいつでもお越しください。「これまでは…」というイメージを捨て、「一斉に」という感覚から脱却すると「新しい学校様式」が見えてくるのではないかと考えています。

